

# 韓国における工業高等学校設立計画

1. に対する援助

昭和47年度予算要求額 790,027,400 円  
(U.S. \$ 2,194,520.-)

## 1. 実験・実習用設備費

589,603,680 円  
(1,637,788 \$)

内訳

(1) 機械工作科

225,468,000 円

(2) 板金・溶接科

34,524,000 円

(3) 木型・鋳物科

34,236,000 円

(4) 金属工業科

84,924,000 円

(5) 電子科

128,376,000 円

(6) 共用設備

64,994,400 円

(7) 理科教育設備費

17,081,280 円

## 2. 教育用設備費

14,590,800 円  
(40,530 \$)

## 3. 教務用設備費

5,659,200 円  
(15,720 \$)

## 4. 実習資材費

37,324,800 円  
(103,680 \$)

5. 其他設備資材費	130,428,720円
(暖冷房・給水設備, 電気設備, 鉄骨構造材等を含む。)	(362,302千)

6. 図書購入費	12,420,000円
	(34,500千)

参考

韓国人教師旅日訓練費	9,650千
------------	--------

日本人教師派遣費	18,065千
----------	---------

計	27,715千
---	---------